

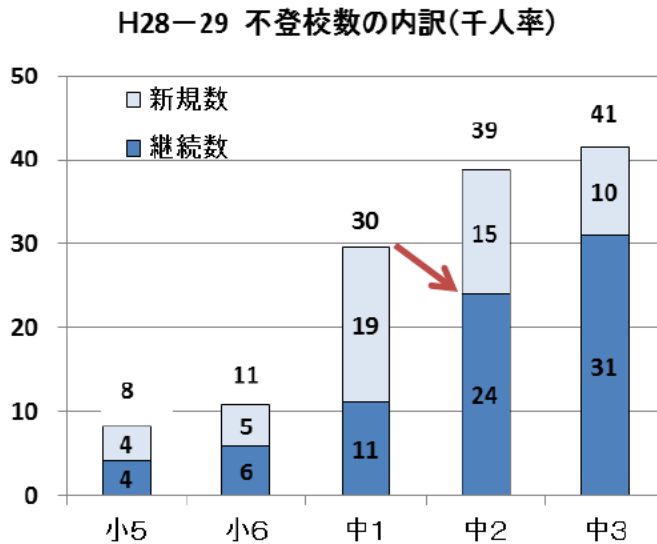
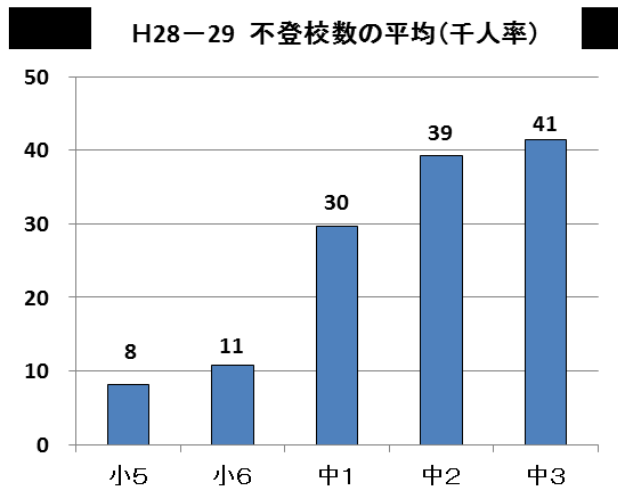
【課題A】

「H28-29 不登校数の平均（千人率）」のグラフは、平成28年度と平成29年度における東京都内の公立小学校5年生から中学3年生までの不登校児童・生徒数の平均を千人率で示したものです。その中で、中学1・2年生に注目してください。1年生では30人、2年生では39人と、9人増加しているだけのように見えます。

しかし、「H28-29 不登校数の内訳（千人率）」のグラフのように、1年生と2年生の不登校生徒数を、前年度からの継続数と、新規数に区別すると異なる状況が見えてきます。

問① 継続数と新規数を区別する視点から認められる状況を説明しなさい。

問② こうした状況をふまえて、どのような視点からの取り組みが求められるか、あなたが学級担任だと想定して考えを述べなさい。



【課題B】

平成29年3月に公示された小・中学校学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められている。その中でも「深い学び」に関しては、各教科等の「見方・考え方」を働かせることが重要になるとし、以下のように述べている。

各教科等の「見方・考え方」は、「どのような視点で物事を捉え、どのような考え方で思考していくのか」というその教科等ならではの物事を捉える視点や考え方である。各教科等を学ぶ本質的な意義の中核をなすものであり、教科等の学習と社会をつなぐものであることから、児童生徒が学習や人生において「見方・考え方」を自在に働かせることができるようにすることこそ、教師の専門性が発揮されることが求められる。

別紙の表を参考に〈国語・社会・算数（数学）・理科・生活・音楽・図画工作（美術）・家庭（技術・家庭）・体育（保健体育）・外国語（外国語活動）・道徳・総合的な学習の時間・特別活動〉のうちから1つの教科または領域を選んで、どのような授業を行えば「深い学び」を実現することが可能か、簡潔に述べなさい。

教科等	見方・考え方
国語	言葉による見方・考え方 対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること
社会	社会的事象の見方・考え方（小学校） 社会的事象を、位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに注目して捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること 【地理的分野】社会的事象の地理的な見方・考え方（中学校） 社会的事象を位置や空間的な広がりによって注目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること 【歴史的分野】社会的事象の歴史的な見方・考え方（中学校） 社会的事象を時期、推移などに注目して捉え、類似や差異などを明確にしたり事象同士を因果関係などで関連付けたりすること 【公民的分野】現代社会の見方・考え方（中学校） 社会的事象を政治、法、経済などに関わる多様な視点（概念や理論など）に注目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること
算数	数学的な見方・考え方（小学校） 事象を数量や図形及びそれらの関係などに注目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考えること
数学	数学的な見方・考え方（中学校） 事象を数量や図形及びそれらの関係などに注目して捉え、論理的、統合的・発展的に考えること
理科	理科の見方・考え方（小学校） 「見方」については、自然の事物・現象を ・「エネルギー」を柱とする領域では、主として量的・関係的な視点で捉えること ・「粒子」を柱とする領域では、主として質的・実体的な視点で捉えること ・「生命」を柱とする領域では、主として共通性・多様性の視点で捉えること ・「地球」を柱とする領域では、主として時間的・空間的な視点で捉えること 「考え方」については、児童が問題解決の過程の中で用いる、比較、関係付け、条件制御、多面的に考えること 理科における「見方・考え方」（中学校） 自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること
生活	身近な生活に関わる見方・考え方 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする事
音楽	音楽的な見方・考え方（小学校） 音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けること 音楽的な見方・考え方（中学校） 音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること。
図画工作	造形的な見方・考え方（小学校） 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと
美術	造形的な見方・考え方（中学校） 対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすこと
家庭	生活の営みに係る見方・考え方 家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること
技術・家庭	【技術分野】技術の見方・考え方 生活や社会における事象を、技術との関わり方の視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに注目して技術を最適化すること。 【家庭分野】生活の営みに係る見方・考え方 家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること
体育	体育の見方・考え方 運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること
保健体育	保健の見方・考え方 個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること
外国語	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方
外国語活動	外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わり方に注目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること
特別の教科 道徳	道徳における見方・考え方 道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めること
総合的な 学習の時間	探究的な見方・考え方 各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰かんして捉え、実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けること
特別活動	集団や社会の形成者としての見方・考え方（小学校） 各教科等の見方・考え方を総合的に働かせながら、自己及び集団や社会の問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に向けた実践に結び付けること 集団や社会の形成者としての見方・考え方（中学校） 各教科等における見方・考え方を総合的に働かせて、集団や社会における問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に関連付けること

各教科等の『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説』『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説』（文部科学省）から抜粋して作成